

アーカイブ Data Report

NO. 81

(2021年3月1日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@np0-nak.com URL: https://np0-nak.com

NP0 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

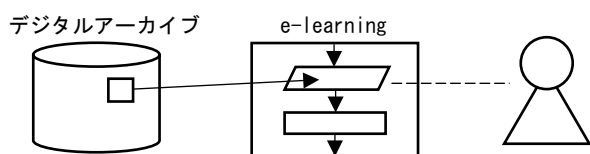
(* 岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

e-learning とデジタルアーカイブを結ぶ 学習フローチャートの紹介

加藤 真由美、櫛 彩見、熊崎 康文、眞喜志 悦子 (岐阜女子大学)

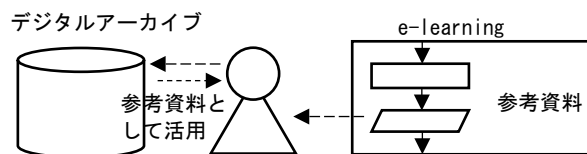
e-learning や通信ネットワーク、テレビ会議システム等を活用した学習において、学びを支援する参考資料や関連資料、評価問題などの多様な資料の提供が課題である。このような課題を解決する方法のひとつに、学習フローチャートを利用した e-learning とデジタルアーカイブの連携が考えられる。以下にその具体的な方法を示す。

① e-learning を用いた学習の一環としてデジタルアーカイブのコンテンツを活用



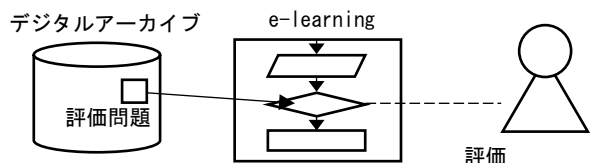
e-learning の学びの一環としてデジタルアーカイブ内のコンテンツをリンク情報から活用する。

② e-learning を用いた学習の参考資料としてデジタルアーカイブを活用



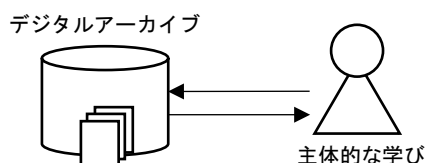
e-learning の学びの参考資料としてデジタルアーカイブ内のコンテンツを学びに応じて活用する。

③ e-learning を用いた学習の評価としてデジタルアーカイブ内に保管の問題を活用



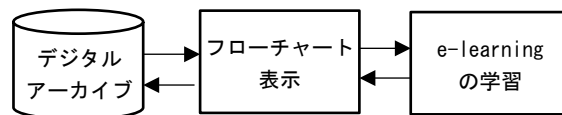
e-learning の学びの評価問題としてデジタルアーカイブ内に保管されている評価問題をリンク情報から活用する。

④ e-learning の学習のプロセスにおいて主体的な学びとしてデジタルアーカイブを活用



e-learning の学びから生まれた課題や必要とする課題解決にデジタルアーカイブ内のコンテンツを検索し活用する。

このように、学習者は、表示された学習フローチャートのリンク情報からデジタルアーカイブにアクセスし、デジタルアーカイブ内に保管されているコンテンツを、参考資料や関連資料、評価問題として適時活用しながら学習を進めることができる。



■ e-learning とデジタルアーカイブを結びつける学習フローチャートの表示

①教師の活動 (T)

教師が主となって活動する領域を **T** とし、右上図(1)のように「四角形」で表示する。図形内には教師の説明、提示などの活動内容とその表題を記入する。

②学習者の活動 (S)

学習者が主となって活動する領域を **S** とし、右上図(2)のように「平行四辺形」で表示する。図形内には学習者の活動内容とその表題を記入する。

③評価 (E)

学習の終了時や学びの区切りの評価を **E** とし、右上図(3)のように「ひし形」で表示する。図形内には評価の内容、またはデジタルアーカイブに保管されている評価問題等のリンク情報や ID を記入する。

④メモ (M)

メモを **M** とし、右上図(4)のような図形で表示する。図形内には、学習活動で利用するデジタルアーカイブのコンテンツのリンク情報や ID、作成した提示・提供の資料の表題等を記入する。これによりデジタルアーカイブ内の資料にアクセスしやすくする。

⑤各授業の始まりと終わり

授業の開始と終了は右上図(5)のような図形で表示する。図形内には、授業のコマ数(回数)を記入する。

⑥授業内の区切り

1 コマの授業内で、時間や進行状況などの区切り時は右上図(5)のような図形で表記する。図形内には、区分の番号を記入する。

フローチャートは、これまで教育工学的な考えから授業展開案や学習ソフトにおける

学びの流れに利用されるなど、新しい知見ではないが、今回、学習フローチャートの利用により、近年ニーズが高まる e-learning を用いた学習において e-learning とデジタルアーカイブを結びつけ、これからの学びを支援する方法として紹介した。

